

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回災害対策として隣接する施設と合同で昼夜を想定し消防訓練を行い、夜間設定のグループ内での具体的な避難の動き、隣接の特養職員との連携などについて具体的な話し合いができていない	避難の参加者を増やす、特に夜間の職員数が少ない体制での避難誘導の訓練を開催する。少なくとも昼夜を想定した訓練を年に2回はしたい。常に話し合いを持ち職員全員に周知させる。	年に2回消防署の指導の下で利用者様も参加しての避難訓練を行う。	6ヶ月
2	60	利用者は戸外の行きたいところに行けていない。自分で発信できない利用者の胸の内を汲み取れてないところがある。介助スタッフのシフトの調整	車イスや歩行が困難な方も目標が持てるように選択肢を提案し外食や買い物の機会を増やしていく。社会交流にも繋げる。	職員の配置に工夫、ご家族や近隣住民。ボランティアさんにも協力の働きかけをする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。